

作業学習とは

多くの特別支援学級では将来、職業について働いていくために必要な理解、関心、意欲、態度、能力を身に付けることをねらいにした作業学習をおこなっています。

本校の7組の作業学習では主に雑巾作りに取り組んでいます。
(その他、必要に応じて花壇の手入れ、段ボールつぶし、校庭の掃き掃除も行っています。)

※作業学習では美術などの時間の制作とは違い、画一の製品を決められた手順に従って手際良く、素早く、不良品を出さないように丁寧に作業をおこなうことを生徒に求めています。また、この活動の中で生徒に報告、返事、確認、敬語の使用などをさせ、働く上で必要な最低限のコミュニケーション力を身に付けさせるように取り組んでいます。

7組の雑巾作り

7組の雑巾作りの工程について紹介します。

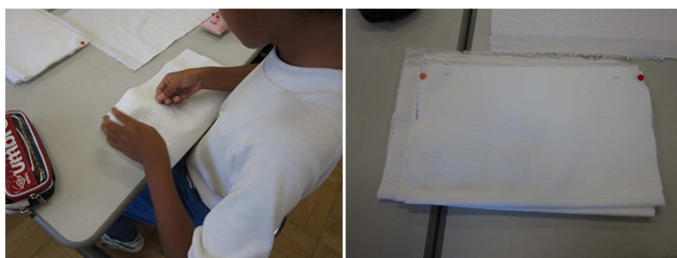
①布きり



まず、大きな反物から雑巾をつくるための生地を切り取ります。

長さを測ってチャコペンで印を付けます。それを裁ちばさみで切っていきます。

②布折り



切り取った布を半分折りして、まち針で止めます。

③はし縫い



ミシンではし（ふち）を直線縫いで縫います。ほつれないように縫い始めと縫い終わりは返し縫いをします。縫う線は事前にチャコペンで引いておきます。出ているミシン糸は糸切りばさみで切って始末します。

④布返し



布をひっくり返します。
その際、目うちを使い、返した布の四つ角をしっかりと出します。

⑤アイロンがけ



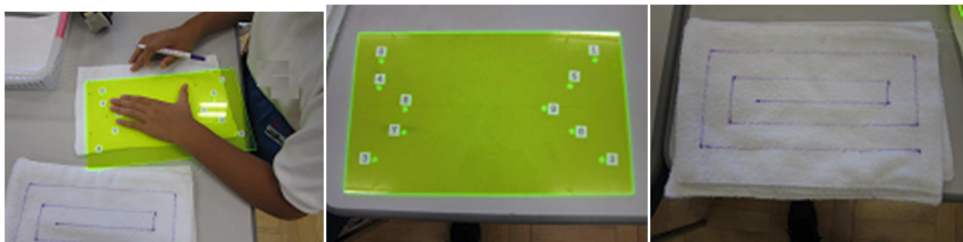
布返しをしたら次の工程のまわり縫いがしやすいようにアイロンをかけます。特に厚手になっている口の部分はしっかりと上から体重をかけてアイロンをします。

⑥まわり縫い



ミシンでまわり縫いをします。できるだけ、4辺のはし（ふち）を縫っていきます。

⑦中縫い



中縫いがしやすいようにチャコペンで印をつけます。
チャコペンの上から雑巾の中をミシンで縫います。



⑧完成



最後に無駄な糸を糸切りばさみで始末をし、アイロンをかけて仕上げます。そして、コメントとともにビニールの袋に5枚の雑巾を入れて完成です。

※学級の雑巾作りは分業の形で行っています。しかし、生徒には、それぞれにやりたい仕事や得手不得手の仕事がありますが、万遍なくどの仕事もできるように指導しています。

※完成した雑巾は職場実習先にお礼として差し上げたり、給食委員会に納めて校内で使用してもらったり、二之江フェスタの時に販売をしています。

最初はそれぞれの力量に合った役割を与えて作業を行わせていますが、一つの仕事が完全にできるようになり、任せられるようになるまでになったら、次の仕事を覚えさせていきます。

このことで自分の仕事の意味や責任を持つこと、協力することの大切さを教えています。